

山口県漁業協同組合 宇部統括支店青壮年部

わたしたちは こんな企業(団体)です

山口県漁業協同組合宇部統括支店青壮年部
代表者：上村 謙太

カキ養殖により、持続的な漁業者の収入増や新規漁業就業者確保のほか、宇部市の『豊かな海』の再生に寄与することで、水産業を基軸とした「経済・社会・環境の好循環システム」の構築を目指します。



わたしたちの SDGs推進プロジェクト

【参画メンバー】漁業関係者、山口県、宇部市

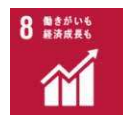
【事業期間】令和6年6月17日～
令和7年1月17日

【事業の目的】

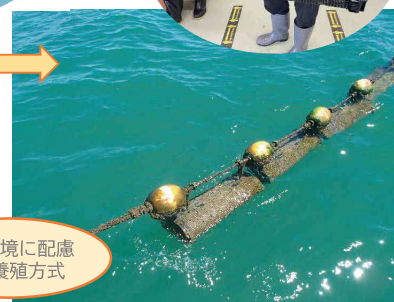
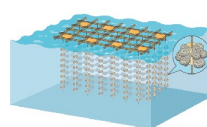
窒素含有率のある海底汚泥量の増加を目指すとともに、プラスチック海洋汚染から海の豊かさを守る。併せて、持続的な事業継続による新規漁業就業者の確保及び移住労働者・女性労働者の増加、漁業者所得の向上を目指す。

【事業の内容】

一般的に採用されている「イカダ式養殖」とは異なる「簡易型カキ養殖シングルシード生産方式」を採用した試験養殖の実施。



▼イカダ式養殖方式



より環境に配慮した養殖方式

▲ シングルシード生産方式

プロジェクトの実績

令和6年7月24日に種苗を入手し、シングルシード方式による牡蠣の試験養殖を開始。現在まで順調に実施できており、今後の施設規模の拡大及び地域水産業の拡充も期待できる。なお、プラスチック部品等の海洋流失による海洋汚染は見られていない。



今後の予定

今後本格実施した後のカキ養殖及び取れたカキの提供は、漁協組合員及び女性部と連携して取り組む予定です。

また、試験養殖段階から様々なSDGsの課題解決に向け、「共創」の理念のもと、宇部市としっかり連携して取り組んでいきます。



▲ 養殖マガキ(1バスケット分)



▲ 漁業関係者による作業風景